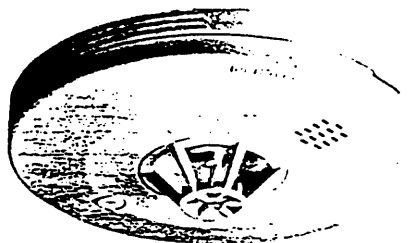


取扱説明書

日本消防検定協会 鑑定合格品

定温式住宅用火災警報器



熱感知
方式

FSL011

「電池用」

FSL011-S

「電池用・移報付」

FSL011-AS

「100V用・移報付」

まもるくん

ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
また、本文中にてくる重要注意事項を注意深く読み、よく理解してご使用ください。

- この取扱説明書は、いつでも使用される所に保管してください。
- この取扱説明書は保証書を兼ねています。
- この商品は定期的な保守点検を必ず行ってください。

NOHMI

保証書

型名	F S L
保証期間	お買い上げ日より1年間
お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 〒
	お名前
販売店	住所
	TEL

- この商品は、厳密な品質管理および検査を経てお届けしたものです。
- お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、保証規定によりお買い上げの販売店がお受けいたします。
- ※ 修理に際しては、お買い上げの販売店に必ずこの保証書を提示の上ご依頼ください。
- ※ この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

能美防災株式会社

本社：〒102 東京都千代田区九段南4丁目7番3号

TEL (03)3265-0211 <大代表>

〔支社〕

東京(03)3265-0211 北海道(011)746-6911 東北(022)221-2695
 茨城(0292)25-2600 北関東(048)642-0147 千葉(043)266-0303
 西関東(0426)27-4930 横浜(045)211-2193 静岡(054)247-3211
 名古屋(052)915-2411 金沢(0762)52-6211 大阪(06)330-8661
 広島(082)263-7333 九州(092)712-1560

商品の概要

- この警報器は日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品ですが、消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。
- この商品は、火災の熱をキャッチして警報音で知らせる住宅用火災警報器です。消火装置や火災防止器ではありません。
- お取付けいただいた部屋などの部分的な警戒になりますので、万一の火災に対してより効果を発揮させるためには必要に応じて、複数の場所にお取付けいただくことをおすすめいたします。

使用上のご注意

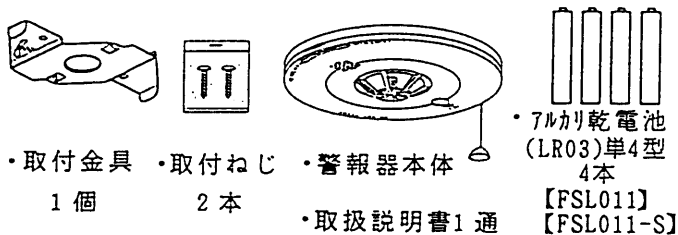
- この警報器は住宅用火災警報器ですので、他の用途には使用しないでください。
- 停電時、電池切れ時およびプラグが抜けている場合は警報音は鳴りません。
- 室内照明や換気扇などを入・切するスイッチによって電源が切れるコンセントには、警報器(FSL011-AS)のプラグを差し込まないでください。
- 殺虫スプレーなどを本体に直接かけないでください。
- 熱感知部(サーミスタ)にさわらないでください。
- この警報器は精密に調整されていますので、本体内部の分解や改造をしないでください。
- 警報器のすき間に針金などを差し込まないでください。
- 雨水のかかる場所、お風呂場などのように高湿度または水蒸気の発生する場所には取り付けないでください。
- この警報器は熱をキャッチして警報を発しますが、次のような場合は火災を感知できないことがあります。
 - 爆発的な火災
 - 火の回りが早い火災
- この警報器は警報音をその場で発しますので、日頃、人のいない部屋に設置する場合は、警報音が聞こえるかどうか確認してから取り付けてください。なお、聴こえにくい場合は別売の増設ブザー(FBZ013)を設置してください。

また、次のような場合は警報音やブザーが聞こえないことがありますので、注意してください。

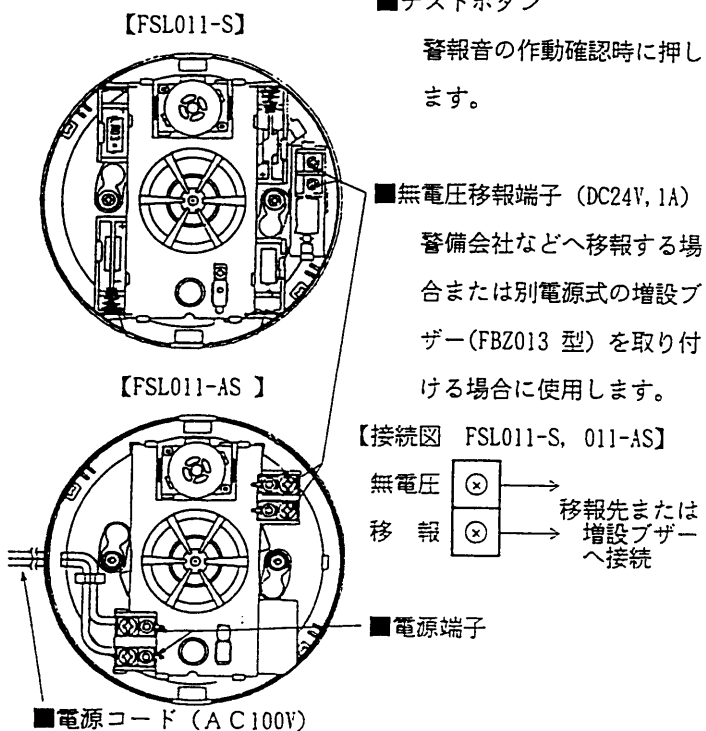
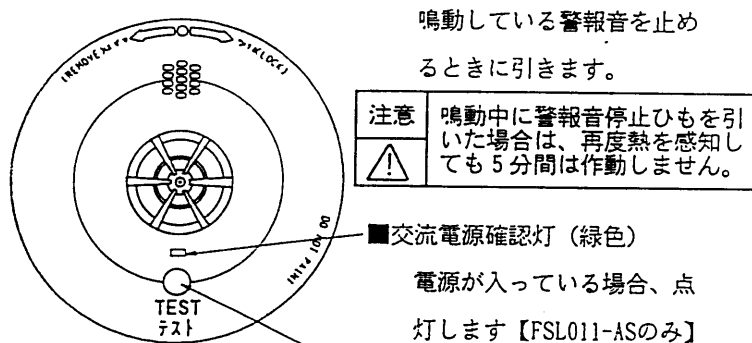
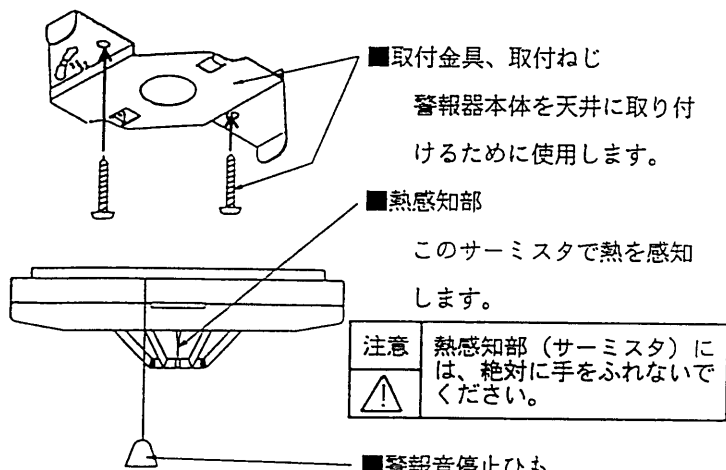
 - 薬、アルコールなどを飲んでの就寝中
 - テレビやステレオなどの音が大きい場合
 - エアコン、洗濯機、自動車などの騒音が大きい場合
- 毎月1度、テストボタンを押して「ピーー」という警報音が鳴ることを確認してください。旅行などで家を留守にした後も同様にテストボタンを押して警報音が鳴ることを確認してください。

商品のご確認

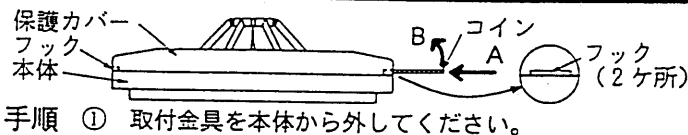
次のものが揃っていることを確認してください。



各部の名称とはたらき



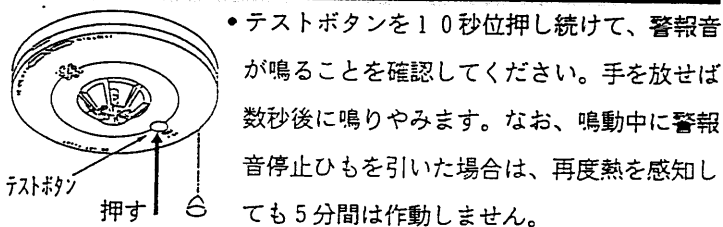
電池の入れ方 (FSL011, FSL011-Sのみ)



注意 取付金具が付いた状態では保護カバーは外せません。無理をすると、保護カバーや本体を破損します。

- ② 本体を片手に持って、矢印Aのようにコインをフック部に差し込み、矢印Bのようにフック部をコインでこじれば、保護カバーが本体から外れます。他方のフック部も同じ要領で行ってください。
- ③ 本体にある電池収納部の底に表示されている+・-極の方向のとおりにより4個の電池を収納してください。
- ④ 電池収納後、保護カバーを元通りに閉めてください。

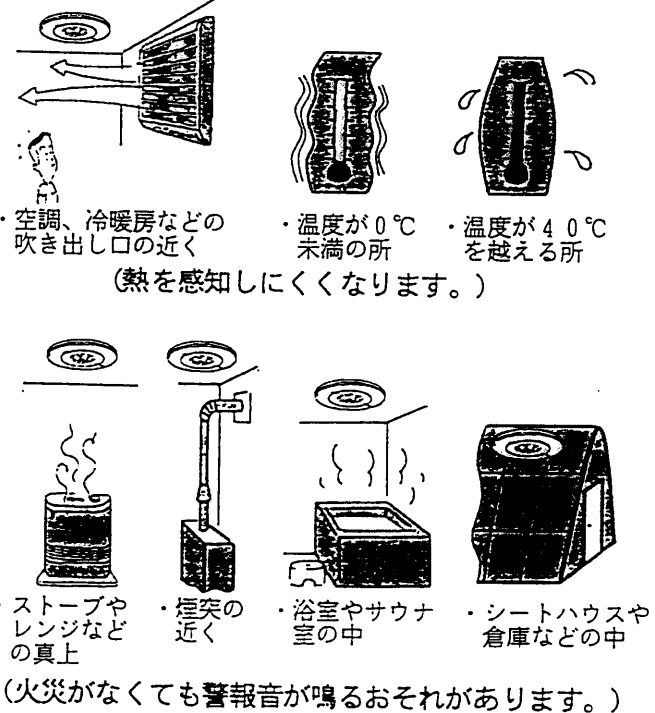
警報器の作動確認



- ・ACタイプ (FSL011-AS) はプラグをコンセントに差し込み、電源確認灯 (緑) の点灯確認後、警報器の作動確認を行ってください。
- ・増設ブザーを同時に設置する場合は、増設ブザーも鳴動することを確認してください。

取付場所

次のような場所には取り付けないでください。



- ・警報器は、0℃～40℃の温度範囲内の場所に取り付けてください。
- ・居室の場合は、各部屋の中心になる位置に取り付けると効果的です。

取り付ける位置は

- 天井の中央部分に取り付けてください。

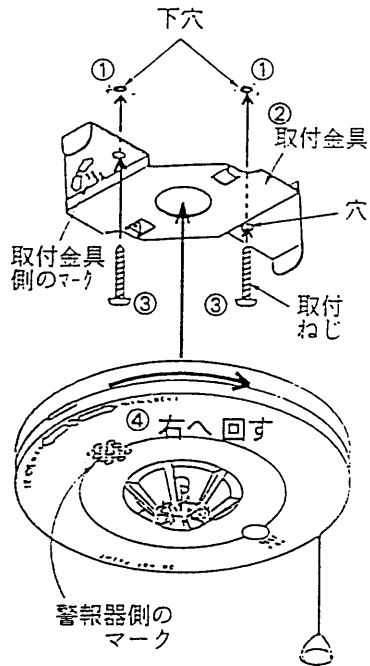


警報器の取付方法

次の手順にしたがって警報器を取り付けてください。

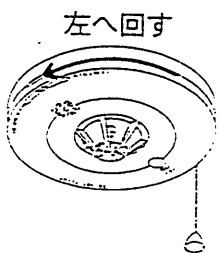
注意	警報器の取付けは、安定した台に乗って行ってください。転倒してけがをすおそれがあります。

手順



- ① 天井面の梁が通っている場所にダンボール付属の紙片Aを使用して、取付ピッチ66.7mmの間隔に印を付け、きりなどで下穴をあけてください。
- ② 取付金具を天井面に当ててください。
- ③ 取付金具の穴に取付ねじを通し、しっかり締め付けてください。
- ④ 取付金具側のマークに警報器側のマークの位置を合わせながら警報器の底面部を取付金具に当て、警報器本体を右に回してください。「カチッ」と音がしたら取付完了です。
- ⑤ ACタイプ (FSL011-AS) は電源プラグをコンセントに差し込んでください。

警報器の取外し方法



注意	FSL011-AS(ACタイプ) を取り外す時は、必ず元電源を切ってから行ってください。

警報器本体を左に回して取外してください。

警報器の作動

1. 熱を感知すると

火災警報器が「ピー」という警報音を発して、火災を知らせます。直ちに現場を確認して、消火などの必要な処置を行ってください。



2. 警報音の止め方

警報音停止ひもを引いてください。警報音が止まります。なお、警報音の停止と同時にタイマが作動しますので、再び熱を感知しても5分間は警報音が鳴りませんので、ご注意ください。

お手入れ方法

注意	警報器本体を水洗いしないでください。また、ベンジンやシンナーを使用しないでください。故障の原因になります。

年に2～3回、化学ぞうきんまたは中性洗剤を浸して十分に絞った布で本体の汚れを拭き取ってください。



電池の交換 (FSL011, FSL011-S のみ)

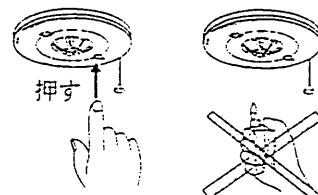
注意	電池の寿命が近づきますと、約15秒間隔で「ピッ」という断続音が鳴ります。この断続音が鳴りはじめたら早めに新しい電池と交換してください。交換しないと動作しません。

- 切れた電池を入れたままにしますと、電池の液漏れが発生し故障の原因になります。
- 4個とも新しい単4型アルカリ乾電池(LR03)と交換してください。なお、マンガン乾電池は寿命が短くなりますので使用しないでください。
- 電池収納部の底に表示されているとおり、+・-極を間違わないように電池を交換してください。
- 増設ブザーの電池 (DC9V, S-006P)も同時に交換してください。

定期点検のお願い

注意	• 点検時、ライターなどの炎を使わないでください。警報器の故障ばかりでなく、火災の原因になります。 • 点検作業時は、安定した台に乗って行ってください。転倒してけがをすおそれがあります。

取付け後は定期的に(1ヶ月に1度)テストボタンを押し、作動点検を行い、警報音が正常に鳴ることを確認してください。



故障かな?と思ったら

警報器の症状とその原因、対処について下表に示します。下記の対処を行っても直らない場合は、販売店までご連絡ください。

症 状	原 因	対 処
1 「ピィ」と約15秒間隔で警報音が鳴る。	<ul style="list-style-type: none"> 電池の寿命です。 この音は約3日間鳴り続けます。電池の寿命は約1年ですが、0℃以下になりますと電池の寿命が短くなります。 	<ul style="list-style-type: none"> 4本とも新品の単4型アルカリ乾電池(LR03)と交換してください。 このとき、新旧の乾電池を混在させないでください。
2 テストボタンを押し続けても警報音が鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> 電池が入っていない、または電池の極性+・-の方向が間違えて入っている。(FSL011, 011-S) 	<ul style="list-style-type: none"> 電池が入っているか、また電池の極性が正しいか確認してください。
	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントに差し込まれていない。 電源が入っていない。(FSL011-AS) 	<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っているか確認してください。 電源が入っていても交流電源確認灯が点灯しない場合、販売店までご連絡ください。
	<ul style="list-style-type: none"> 警報音停止ひもを引いてから5分間経過してない。 	<ul style="list-style-type: none"> 5分後、テストボタンを押してください。
3 火災でないのに警報音が鳴る。	<ul style="list-style-type: none"> 火災以外の熱(料理中の熱、ストーブやガスコンロの熱、直射日光などになる熱など)を警報器がキャッチした。 	<ul style="list-style-type: none"> 熱感知部周辺の温度が下がるまでお待ちください。また、火災以外の熱で警報音が多発する場合は設置場所を変えてください。

アフターサービスについて

- この商品には保証書が付いています。お買い上げの販売店で所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。万一故障した場合は、内部機構をさわらずにお買い上げの販売店に修理をお申しつけください。保証規定により修理をいたします。
- アフターサービスについてご不明の場合、その他当社商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店か能美防災(株)にご連絡ください。

保証規定

- 保証期間内(お買い上げ日から満1年間)に、正常なご使用状態において万一故障した場合には、無料で修理いたします。(電池を除く)
- 次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。
 - 保証書のご提示がない場合
 - 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障や損傷
 - 火災、地震、水害、異常電圧、公害、指定外の電源使用(電圧・周波数)およびその他天災地変等による故障や損傷
 - 保証書の所定事項の未記入や字句が書換えられた場合
- 保証書は、日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

郵送についてのお願い

警報器を当社へ郵送される場合は、次のことに注意してください。

- 保証期間中であるときは、本書を商品に同梱してください。
- 商品は緩衝材に包んでボール箱に入れるか、または郵送用の袋(メールバッグ:文具店などでお求めいただけます)などに入れて、輸送中の損傷を防ぐようご配慮ください。
- 紛失などを防ぐため、簡易書留をご利用ください。

仕 様

型名別の仕様内容を下表に示します。なお、仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

型 名	F S L 011 電池用	F S L 011-S 電池用・移報付	F S L 011-AS 100V用・移報付
種 別	定温式住宅用火災警報器		
電 源	DC6V (単4型アルカリ乾電池LR03 4本)	AC100V, 50/60Hz	
感知方式	熱式(定温式)		
電池寿命	約1年	—	
電池切れ警報	約15秒に1回「ピィ」	—	
音 圧	1m離れて70dB以上		
外形寸法	φ122×42mm		
無電圧移報端子	—	1組(DC24V, 1A)	
使用温度範囲	0℃~40℃		
重 量	約200g	約200g	約200g